

「令和8年度 生産性向上の取組に関するアンケート」都道府県別回答数

(R8. 4. 27時点)

ブロック	都道府県	回答数
北海道	北海道	98
北海道ブロック計		98
東北	青森県	34
	岩手県	45
	宮城県	26
	秋田県	68
	山形県	22
	福島県	23
東北ブロック計		218
関東	茨城県	91
	栃木県	20
	群馬県	29
	埼玉県	27
	千葉県	9
	東京都	6
	神奈川県	0
	山梨県	57
	長野県	95
関東ブロック計		334
中部	岐阜県	52
	静岡県	0
	愛知県	15
	三重県	13
中部ブロック計		80
北陸	新潟県	80
	富山県	61
	石川県	15
北陸ブロック計		156

ブロック	都道府県	回答数
近畿	福井県	59
	滋賀県	18
	京都府	0
	大阪府	11
	兵庫県	80
	奈良県	6
和歌山県	5	
近畿ブロック計		179
中国	鳥取県	14
	島根県	45
	岡山県	57
	広島県	11
	山口県	88
中国ブロック計		215
四国	徳島県	19
	香川県	39
	愛媛県	93
	高知県	19
四国ブロック計		170
九州	福岡県	9
	佐賀県	0
	長崎県	0
	熊本県	41
	大分県	0
	宮崎県	26
	鹿児島県	44
	沖縄県	13
九州ブロック計		133
合 計		1,583

全建事発第 006 号
令和 8 年 4 月 13 日

各都道府県建設業協会
専務理事・事務局長 殿

一般社団法人全国建設業協会
専務理事 山崎 篤男
〔公印省略〕

令和 8 年度 生産性向上の取組に関するアンケート調査について（協力依頼）

平素は、本会の活動につき格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当アンケート調査は、将来的な人手不足が懸念される建設業において、他産業と比較して低水準にある労働生産性の向上は必須の課題であり、各会員企業の生産性向上への取組状況や課題等を把握し、生産性向上に関する国土交通省との意見交換や政府・与党への要望活動の際に活用することを目的に実施させていただきます。

つきましては、下記の実施要領に基づき実施いたしたく、ご多忙の折、誠に恐縮でございますが、諸事情ご賢察の上、会員企業へのご周知方、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

【アンケート URL】

<https://forms.office.com/r/U93kSJ18mM>

【実施要領】

（調査の目的）

会員企業の生産性向上への取組状況等を把握し、生産性向上に関する各種会議・要望等の基礎資料として活用

（調査の内容）

- ・ 基本情報（企業の属性等について）
- ・ BIM/CIM の実施状況
- ・ ICT 施工の取組状況
- ・ その他生産性向上の取組状況

（調査の対象）

各都道府県建設業協会所属の会員企業

（回答期限）

令和 8 年 5 月 29 日（金）

以上

【担当】事業部 平石
TEL : 03-3551-9396
E-mail : jigyo@zenken-net.or.jp

令和8年度 生産性向上の取組に関するアンケート 設問一覧

基本情報		
No.	設問	回答（選択肢）
Q1	貴社の所在地を選択してください。	47都道府県
Q2	貴社の資本金額を選択してください。	個人
		1,000万円未満
		1,000万円以上3,000万円未満
		3,000万円以上5,000万円未満
		5,000万円以上1億円未満
		1億円以上10億円未満
Q3	貴社における直近の完成工事高について選択してください。	10億円以上
		2億円未満
		2億円以上5億円未満
		5億円以上10億円未満
		10億円以上50億円未満
		50億円以上100億円未満
Q4	貴社の常勤役員と従業員数の合計人数を選択してください。	100億円以上
		10人未満
		10人以上30人未満
		30人以上50人未満
		50人以上100人未満
		100人以上200人未満
Q5	貴社が受注する工事の主な取引先についてお答えください。	200人以上
		国土交通省（元請）
		都道府県（元請）
		市区町村（元請）
		協力会社として参加（下請）
		その他（民間等）

令和8年度 生産性向上の取組に関するアンケート 設問一覧

1. ICT施工の取組状況

※ICT施工：測量、設計・施工計画、施工・施工管理、検査の各建設生産プロセスにおいてICT技術を活用する施工方法

No.	設問	回答（選択肢）
Q6	ICT施工に取り組んでいますか？	取り組んでいる
		取り組んでいない
Q7	設問6にて「取り組んでいる」と回答した方のみお答えください。 ICT施工の取り組んだ理由についてお答えください。 (※該当するものを最大3つまで選択してください)	生産性向上（省人化・工期短縮）を図るため
		会社の利益向上のため
		国の発注工事が原則化を進めているため
		地方自治体発注工事が増えてきたため
		機械導入費の補助金が活用できたため
	その他（自由記述）	
Q8	設問6にて「取り組んでいる」と回答した方のみお答えください。 ICT活用工事の受注状況についてお答えください。	ICT活用工事の受注実績がある
		ICT活用工事の受注実績はない
Q9	設問8にて「ICT活用工事の受注実績がある」と回答した方のみお答えください。 ICT活用工事の受注実績についてお答えください。 (※該当するものを全て選択してください)	【発注者指定型】の工事受注実績がある
		【施工者希望型】の工事受注実績がある
Q10	設問8にて「ICT活用工事の受注実績がある」と回答した方のみお答えください。 国（国土交通省）発注のICT活用工事にて実施した工種は何ですか？ (※該当するものを全て選択してください)	土工
		法面工
		舗装工
		地盤改良工
		構造物工
		浚渫工
		国（国土交通省）での受注実績なし
		その他（自由記述）
Q11	設問8にて「ICT活用工事の受注実績がある」と回答した方のみお答えください。 国（国土交通省以外）発注のICT活用工事にて実施した工種は何ですか？ (※該当するものを全て選択してください)	土工
		法面工
		舗装工
		地盤改良工
		構造物工
		浚渫工
		国（国土交通省以外）での受注実績なし
		その他（自由記述）

Q12	設問8にて「ICT活用工事の受注実績がある」と回答した方のみお答えください。 都道府県発注のICT活用工事にて実施した工種は何ですか？ (※該当するものを全て選択してください)	土工
		法面工
		舗装工
		地盤改良工
		構造物工
		浚渫工
		都道府県での受注実績なし
		その他（自由記述）
Q13	設問8にて「ICT活用工事の受注実績がある」と回答した方のみお答えください。 市区町村発注のICT活用工事にて実施した工種は何ですか？ (※該当するものを全て選択してください)	土工
		法面工
		舗装工
		地盤改良工
		構造物工
		浚渫工
		市区町村での受注実績なし
		その他（自由記述）
Q14	設問6にてICT施工に「取り組んでいる」と回答した方のみお答えください。 施工に使用したICT建機および関連機器は【自社所有機械】ですか？	はい
		いいえ
Q15	設問14にて「はい（自社所有機械）」と回答した方のみお答えください。 施工に使用したICT建機および関連機器は何ですか？ (※該当するものを全て選択してください)	ICTバックホウ
		ICTブルドーザー
		ICT振動ローラー
		ドローン（UAV）
		ICTモーターグレーダー
		測量機器（TS・TLS等）
		建機に後付けするICT機器
		3次元設計ソフトウェア
その他（自由記述）		
Q16	設問15にて「ICTバックホウ」と回答した方のみお答えください。 該当のICTバックホウに搭載されている機能は何ですか？ (※該当するものを全て選択してください)	3Dマシンコントロール
		3Dマシンガイダンス
		2Dマシンコントロール
		2Dマシンガイダンス
		その他（自由記述）
Q17	設問14にて「はい（自社所有機械）」と回答した方のみお答えください。 自社所有した理由は何ですか？ (※該当するものを全て選択してください)	ICT施工の内製化を図るため
		ICT施工が工事成績や総合評価等で加点されるため
		他社との差別化を図るため
		補助金等が活用できたため
		リース費用が高額なため
		外注費や外注の手待ち時間削減のため
		現場担当からの要請のため
その他（自由記述）		

Q18	<p>設問6にてICT施工に「取り組んでいる」と回答した方のみお答えください。</p> <p>施工に使用したICT建機および関連機器は【自社によるレンタル・リース対応】ですか？</p>	<p>はい</p> <p>いいえ</p>
Q19	<p>設問18にて「はい（自社によるレンタル・リース対応）」と回答した方のみお答えください。</p> <p>施工に使用したICT建機および関連機器は何ですか？ （※該当するものを全て選択してください）</p>	<p>ICTバックホウ</p> <p>ICTブルドーザー</p> <p>ICT振動ローラー</p> <p>ドローン（UAV）</p> <p>ICTモーターグレーダー</p> <p>測量機器（TS・TLS等）</p> <p>建機に後付けするICT機器</p> <p>3次元設計ソフトウェア</p> <p>その他（自由記述）</p>
Q20	<p>設問19にて「ICTバックホウ」と回答した方のみお答えください。</p> <p>該当のICTバックホウに搭載されている機能は何ですか？ （※該当するものを全て選択してください）</p>	<p>3Dマシンコントロール</p> <p>3Dマシンガイダンス</p> <p>2Dマシンコントロール</p> <p>2Dマシンガイダンス</p> <p>その他（自由記述）</p>
Q21	<p>設問18にて「はい（自社によるレンタル・リース対応）」と回答した方のみお答えください。</p> <p>レンタル、リースした理由は何ですか？ （※該当するものを全て選択してください）</p>	<p>自社所有するには高額すぎるため</p> <p>ICT施工工事が少なく使用頻度が低いため</p> <p>コストパフォーマンスが悪いため</p> <p>自社及び協力会社がICT機器を所有していないため</p> <p>点検整備を任せられるため</p> <p>常に最新機器を使用したいため</p> <p>自社所有機械だけでは足りないため</p> <p>受注見通しが立たないため</p> <p>その他（自由記述）</p>
Q22	<p>設問6にてICT施工に「取り組んでいる」と回答した方のみお答えください。</p> <p>施工に使用したICT建機および関連機器は【協力業者の所有機械】ですか？</p>	<p>はい</p> <p>いいえ</p>
Q23	<p>設問6にてICT施工に「取り組んでいる」と回答した方のみお答えください。</p> <p>施工に使用したICT建機および関連機器は【協力業者によるレンタル・リース対応】ですか？</p>	<p>はい</p> <p>いいえ</p>
Q24	<p>設問6にてICT施工に「取り組んでいる」と回答した方のみお答えください。</p> <p>ICT施工において、内製化して実施しているプロセスはありますか？ （※該当するものを全て選択してください）</p>	<p>測量・出来形管理</p> <p>3次元設計データ作成</p> <p>ICT建設機械による施工（自社保有・リース）</p> <p>内製化しているプロセスはない（全て外注）</p>

Q25	設問24にて「測量・出来形管理」「データ作成」「ICT建設機械による施工」と回答した方のみお答えください。 内製化した理由は何ですか？ (※該当するものを全て選択してください)	利益向上のため
		若手採用・人材確保のため
		他社との差別化を図るため
		外注費や外注の手待ち時間削減のため
		現場担当からの要請のため
		その他（自由記述）
Q26	設問24にて「3次元設計データ作成」と回答した方のみお答えください。 社内に3次元設計データを扱える人材はどの程度いますか？	1～2名
		3～5名
		6～9名
		10名以上
Q27	設問24にて「内製化しているプロセスはない」と回答した方のみお答えください。 外注している理由は何ですか？ (※該当するものを全て選択してください)	社内に対応できる人材がないため
		人材育成に時間と手間が生じるため
		外注した方が楽で安心なため
		協力会社が内製化しているため
		その他（自由記述）
Q28	設問6にて「取り組んでいる」と回答した方のみお答えください。 ICT施工の実施により、通常施工と比較してどの程度の省人化効果（人・日の削減）が見られましたか？	かなり効果があった（3割以上）
		効果があった（1割～3割程度）
		少し効果があった（1割未満）
		効果はなかった（通常施工と同程度）
		分からない・効果を把握していない
Q29	設問6にて「取り組んでいない」と回答した方のみお答えください。 ICT施工に取り組まない理由についてお答えください。 (※該当するものを全て選択してください)	施工量が小さく従来施工で十分なため
		3次元データを扱える人材がないため
		3次元で出来形管理を行う必要がない現場が多いため
		ICT建設機械が高価なため
		外注費が高価なため
		その他（自由記述）
Q30	ICT施工に対する今後の貴社の取り組み姿勢についてお聞かせください。	積極的に取り組む
		状況によっては取り組みたい（準備を進めたい）
		取り組みたいが課題により取り組めない
		取り組み予定なし（取り組み可能な工事が無い）
		その他
Q31	設問30にて「積極的に取り組む」、「状況によっては取り組みたい（準備を進めたい）」と回答した方のみお答えください。 その理由をお聞かせください。 (※該当するものを全て選択してください)	ICT施工は一定の効率化が見込めるため
		人手不足が懸念され、ICT施工が生産性向上の主流となるため
		今後元請けで受注する際に必要な技術であるため
		その他（自由記述）
Q32	設問30にて「取り組み予定なし（取り組み可能な工事が無い）」、「取り組みたいが課題により取り組めない」と回答した方のみお答えください。 その理由をお聞かせください。 (※該当するものを全て選択してください)	ICT施工を内製化するためのコストに見合った利益が回収できないか疑問なため
		通常施工と比較してICT施工のメリットがないため
		国土交通省以外の発注者は進捗が遅く、今から積極的に導入してもコストが回収できないため
		国土交通省以外の発注者は積極的に取り組むと言いながらICT施工への変更を認めてくれないため
		その他（自由記述）

Q33	設問32にて「通常施工と比較してICT施工のメリットがないため」と回答した方のみお答えください。 メリットを感じられない具体的な工事や施工条件等をお答えください。	(自由記述)
Q34	設問32にて「ICT施工を内製化するためのコストに見合った利益が回収できるか疑問なため」、「国土交通省以外の発注者は進捗が遅く、今から積極的に導入してもコストが回収できないため」と回答した方のみお答えください。 ICT施工を実施するにあたって、特に負担に感じるコスト項目をお答えください。	機器導入費 ソフトウェア利用料 外注費（測量） 外注費（データ作成） 教育・研修費 その他（自由記述）
Q35	ICT施工に関するニーズやICT施工の拡大にどのようなことが必要だと思われますか？ (※特に重要と思われるもの全てを選択してください)	対象工事の拡大 対象工事の活用範囲拡大（部分活用） 官積算への適切な反映 工事成績への適切な加点措置 助成制度の拡充（人材育成・設備投資） 発注者側の人材育成・体制整備 受注者側の人材育成・体制整備 ICT建機の価格（リース料）・機能面の改善を含めた体制の充実 その他（自由記述）
Q36	ICT施工全般について、感じている課題や要望等をお聞かせください。	(自由記述)

令和8年度 生産性向上の取組に関するアンケート 設問一覧

2. BIM/CIMの実施状況

※BIM/CIM（Building/Construction Information Modeling, Management）：建設事業で取り扱う情報をデジタルデータとして統合管理することにより、調査、測量、設計、施工、維持管理等の建設事業の各段階に携わる受発注者のデータ活用・共有を容易にし、建設事業全体における一連の建設生産・管理システムの効率化を図ること

No.	設問	回答（選択肢）
Q37	BIM/CIM適用工事の受注実績についてお答えください。	BIM/CIM適用工事の受注実績がある BIM/CIM適用工事は受注していない
Q38	設問37にて「BIM/CIM適用工事の受注実績がある」と回答した方のみお答えください。 BIM/CIM適用工事の受注状況についてお答えください。 (※該当するもの全てを選択してください)	【発注者指定型】の工事受注実績がある 【受注者希望型】の工事受注実績がある
Q39	設問37にて「BIM/CIM適用工事の受注実績がある」と回答した方のみお答えください。 国（国土交通省）発注のBIM/CIM適用工事にて実施した工種は何ですか？ (※該当するもの全てを選択してください)	土工 構造物工 舗装工 浚渫工 地盤改良工 法面工 建築物（新築） 建築物（改修） 国（国土交通省）での受注実績なし その他（自由記述）
Q40	設問37にて「BIM/CIM適用工事の受注実績がある」と回答した方のみお答えください。 国（国土交通省以外）発注のBIM/CIM適用工事にて実施した工種は何ですか？ (※該当するもの全てを選択してください)	土工 構造物工 舗装工 浚渫工 地盤改良工 法面工 建築物（新築） 建築物（改修） 国（国土交通省以外）での受注実績なし その他（自由記述）
Q41	設問37にて「BIM/CIM適用工事の受注実績がある」と回答した方のみお答えください。 都道府県発注のBIM/CIM適用工事にて実施した工種は何ですか？ (※該当するもの全てを選択してください)	土工 構造物工 舗装工 浚渫工 地盤改良工 法面工 建築物（新築） 建築物（改修） 都道府県での受注実績なし その他（自由記述）

Q42	設問37にて「BIM/CIM適用工事の受注実績がある」と回答した方のみお答えください。 市区町村発注のBIM/CIM適用工事にて実施した工種は何ですか？ (※該当するもの全てを選択してください)	土工
		構造物工
		舗装工
		浚渫工
		地盤改良工
		法面工
		建築物（新築）
		建築物（改修）
		市区町村での受注実績なし
		その他（自由記述）
Q43	BIM/CIMの公共工事への導入が進められていますが、貴社でのBIM/CIM（土木分野での活用）に対する取組状況をお答えください。	既に活用実績がある
		今後活用したい（準備を進めている）
		活用したいが課題により取り組めない
		聞いたことはあるが詳細不知
		活用する予定なし
		土木工事の受注なし
その他（自由記述）		
Q44	設問43にて「既に活用実績がある」、「今後活用したい（準備を進めている）」と回答した方のみお答えください。 BIM/CIM（土木分野での活用）ではどのような取組を行いましたか（行う予定ですか）。 (※該当するもの全てを選択してください)	発注者や施工関係者間の合意形成
		施工ステップの可視化による合意形成の円滑化
		地元説明会や工事説明への活用
		工事に関わる管理データの一元管理
		過密鉄筋箇所の事前確認による組立作業性の向上
		その他（自由記述）
Q45	BIM/CIMの公共工事への導入が進められていますが、貴社での建築BIMに対する取組状況をお答えください。	既に活用実績がある
		今後活用したい（準備を進めている）
		活用したいが課題により取り組めない
		聞いたことはあるが詳細不知
		活用する予定なし
		建築工事の受注なし
その他（自由記述）		
Q46	設問45にて「既に活用実績がある」、「今後活用したい（準備を進めている）」と回答した方のみお答えください。 建築BIMについてどのような活用を行いましたか（行う予定ですか）。 (※該当するもの全てを選択してください)	発注者や施工関係者間の合意形成
		納まり・干渉の検討
		施工計画への活用
		施工図作成
		数量算出
		デジタルモックアップの作成
		その他（自由記述）
Q47	設問43、設問45にて「既に活用実績がある」、「今後活用したい（準備を進めている）」と回答した方のみお答えください。 BIM/CIM（又は建築BIM）実施の良かった点や期待する点は何ですか？ (※該当するもの全てを選択してください)	設計内容の可視化による理解度アップ、関係者の合意形成
		施工ステップの可視化による安全性や作業効率の向上
		構造物の鉄筋干渉や既設との取り合い等の見える化による現場手戻りの減少
		3Dモデルと点群を併せた活用による施工や施工管理の効率化
		その他（自由記述）

Q48	設問43、設問45にて「既に活用実績がある」、「今後活用したい（準備を進めている）」と回答した方のみお答えください。 BIM/CIM（又は建築BIM）実施の課題や要望は何ですか？ （※該当するもの全てを選択してください）	BIM/CIMに精通した技術者の採用・育成が必要
		ハードウェア、ソフトウェアが高額
		施工段階でのデータ作成・修正に時間を要し作業の効率化や簡素化に逆行
		人材育成、設備投資に係る助成制度の拡充
		発注段階での3Dモデルの提供が必要
		積極的に取り組んでいる会社に対する工事成績での適切な加点措置
		複数のソフトがあり互換性がない
		BIM/CIM適用工事の拡充
		協力会社が未対応で従来の2D図面による管理が必要
		その他（自由記述）
Q49	設計段階で作成された3次元モデルの提供を受けた工事では、施工段階で生産性は向上しましたか？（土木・建築分野共通）	生産性は向上した
		生産性は向上していない
		どちらとも言えない
		3Dモデルの提供を受けたことがない
その他（自由記述）		
Q50	設問49で「生産性は向上した」と回答した方のみお答えください。 どのような点において生産性が向上しましたか？ （※該当するもの全てを選択してください）	施工過程のイメージが共有でき安全確保や出来高管理が容易となる
		事前に施工上の問題点が把握でき、確実な施工計画の作成によりトラブルの未然防止ができる
		3Dモデルの形状や属性情報から正確な仕様や数量が分かるため、途中の変更や提案がスムーズに行える
		設計照査が不要、または効率的になる
		現場で用いるICT建機やデジタル機器との親和性が高く、データ共有による効率化や準備作業（丁張り）の軽減等ができる
		その他（自由記述）
Q51	設問49にて「生産性が向上した」と回答した方のみお答えください。 BIM/CIMの実施により、どの程度の省人化効果（人・日の削減）が見られましたか？	かなり効果があった（3割以上）
		効果があった（1割～3割程度）
		少し効果があった（1割未満）
Q52	設問49で「生産性は向上していない」と回答した方のみお答えください。 どのような点において生産性が向上していないと感じましたか？ （※該当するもの全てを選択してください）	3Dモデルと発注図書の不一致により、施工用に3Dモデルの作成・修正が生じる
		3Dモデルを自社で作成するための時間とコストがかかりすぎる
		発注者の意識やレベルに差があり、BIM/CIM実施活用に対する理解や協力が得られない
		施工はある程度効率化でき生産性は向上するが、費用対効果が悪い
その他（自由記述）		

令和8年度 生産性向上の取組に関するアンケート 設問一覧

3. その他生産性向上の取組状況

No.	設問	回答（選択肢）
Q53	生産性向上のために、どのような取組をしていますか？ （※該当するものを全て選択してください）	施工管理アプリ（写真管理アプリ含む）の活用
		電子黒板の活用
		ドローン（UAV）の活用
		電子契約サービスの活用
		経理システムの活用
		勤怠管理システムの活用
		3D測量の実施
		ICT技術者の採用・育成
		ICT建機の活用
		遠隔施工技術の活用
		チルトロータータの活用
		受注・施工の平準化
		BIM/CIMの実施
		ウェアラブルカメラの活用
		デジタル技術を活用した検査（配筋・圧接等）
特に行っていない		
その他（自由記述）		
Q54	現場技術者の負担軽減、管理業務の生産性向上のため、現場支援として取り組んだ（取り組んでいる）ことは何ですか？ （※該当するものを全て選択してください）	社内書類の削減・簡素化等
		受発注者間の情報共有システム（ASP方式）活用による現場情報共有
		遠隔臨場による監督・検査
		バックオフィス（本社管理部門等）でのサポート体制の構築
		遠隔地から現場を確認できるWebカメラの設置
		現場・本社間のWeb会議システム導入
		発注者への提出書類を社内書類に流用
		建設ディレクターの導入
		建退共の電子ポイント方式の導入
		その他（自由記述）
Q55	AI（人工知能）を活用した会社や現場における業務の効率化・改善に取り組んでいますか？	取り組んでいる
		取り組んでいない

Q56	<p>設問55にて「取り組んでいる」とお答えした方のみお答えください。</p> <p>AI（人工知能）を活用してどのような業務の効率化・改善に取り組んでいますか。</p> <p>（※該当するものを全て選択してください）</p>	<p>事務・バックオフィス業務（ChatGPT等を使った文章・書類作成、議事録、翻訳など）</p> <p>現場の安全管理（AIカメラによる危険検知、重機の接触・侵入防止など）</p> <p>専門業務・検査（AIによる図面の拾い出し、見積り、ひび割れ等の画像診断など）</p> <p>工程・経営管理（データ分析に基づく工程の最適化、人員配置など）</p> <p>人材育成（AIを活用できる人材の採用や社内研修の実施など）</p> <p>その他（自由記述）</p>
Q57	<p>設問55にて「取り組んでいる」と回答した方のみお答えください。</p> <p>AI（人工知能）の導入により、業務担当者においてどの程度の省人化効果（人・日の削減）が見られましたか？</p>	<p>かなり効果があった（3割以上）</p> <p>効果があった（1割～3割程度）</p> <p>少し効果があった（1割未満）</p> <p>効果はなかった（通常と同程度）</p> <p>分からない・効果を把握していない</p>
Q58	<p>設問55にて「取り組んでいない」とお答えした方のみお答えください。</p> <p>AI（人工知能）を活用した業務の効率化・改善に関心がありますか？</p>	<p>関心がある</p> <p>関心がない</p>
Q59	<p>設問58にて「関心がある」とお答えした方のみお答えください。</p> <p>どのような点においてAI（人工知能）を活用した業務の効率化・改善に関心がありますか。</p> <p>（※該当するものを全て選択してください）</p>	<p>事務・バックオフィス業務（ChatGPT等を使った文章・書類作成、議事録、翻訳など）</p> <p>現場の安全管理（AIカメラによる危険検知、重機の接触・侵入防止など）</p> <p>専門業務・検査（AIによる図面の拾い出し、見積り、ひび割れ等の画像診断など）</p> <p>工程・経営管理（データ分析に基づく工程の最適化、人員配置など）</p> <p>人材育成（AIを活用できる人材の採用や社内研修の実施など）</p> <p>情報収集・検討（具体的な内容はないが、AIツールの情報収集や検討は行っている）</p> <p>その他（自由記述）</p>
Q60	<p>受注した工書の詳細設計等で省人化に配慮した新技術や施工方法について、発注者による検討・採用がされているかをお答えください。</p>	<p>検討・採用されている</p> <p>検討しているが採用されていない</p> <p>検討・採用されていない</p> <p>わからない</p>
Q61	<p>設問60にて「検討・採用している」とお答えした方のみお答えください。</p> <p>検討・採用された新技術や施工方法をお答えください。</p> <p>（例：ICT施工、プレキャスト製品の採用、残存型枠工等）</p>	<p>（自由記述）</p>

Q62	生産性の向上に資する補助金や助成金等について、利用している、または利用予定のある補助金をお答えください。 (※該当するものを全て選択してください)	ものづくり・商業・サービス生産性向上促進事業（ものづくり補助金）：中小企業基盤整備機構、全国中小企業団体中央会
		サービス等生産性向上IT導入支援事業（IT導入補助金）：中小企業庁
		中小企業省力化投資補助金：中小企業庁
		人材開発支援助成金：厚生労働省、各都道府県労働局
		建設市場整備推進事業費補助金：国土交通省、全国建設業協会
		建築GX・DX推進事業：国土交通省
		働き方改革推進支援助成金：厚生労働省、各都道府県労働局
		その他（自由記述）
	利用予定はない	
Q63	設問62にて「その他」と回答した方のみお答えください。利用している、または利用予定のある補助金や助成金等の名称をお聞かせください。	（自由記述）
Q64	設問62にて「利用予定はない」と回答した方のみお答えください。利用していない理由をお聞かせください。	（自由記述）
Q65	生産性向上に向けた取組について、全体を通してご意見、ご要望があればご記入下さい。	（自由記述）